

令和5年度浜松市における 森林環境譲与税の実績

令和6年10月
浜松市産業部林業振興課

令和5年度 浜松市における森林環境譲与税の活用



①森林の整備に関する施策【208,128千円(58.3%)】

【主な事業】

- 管理されていない森林の所有者への意向調査や現地調査
- 森林の主伐、再造林、獣害対策等に対する助成
- 森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成 等

②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保【8,620千円(2.4%)】

【主な事業】

- 林業従事者の安全装備等に対する助成
- 林業、木材製造業及び建設業の担い手確保等に対する助成 等



⑤その他の森林の整備の促進に関する施策【20,198千円(5.7%)】

【主な事業】

- 林道情報デジタル化
- 林業事業体等が実施する開発・研究・調査等に対する助成

③森林の有する公益的機能に関する普及啓発

【7,948千円(2.2%)】

【主な事業】

- FSC普及啓発のためのノベルティ配布やイベント出展
- 首都圏の大都市等との連携促進 等

④木材の利用の促進【112,085千円(31.4%)】

【主な事業】

- 天竜材を使用して住宅を建築した施主に対する助成
- 天竜材を活用した非住宅の木造・木質化に対する助成
- 保育園の新築工事 等



令和5年度 浜松市における森林環境譲与税の活用

			(単位: 千円)		
No.	事業名	主な実施内容	決算額		割合(%) ※譲与税
			決算額	うち充当額	
①森林の整備に関する施策					58.3
1	防風林等被害対策事業	松くい虫被害拡大防止のため伐倒駆除及び薬剤散布、危険木伐採を実施	27,455	27,454	7.7
2	森林経営管理推進事業	適切に管理されていない森林の所有者への意向確認等調査や、意向に基づいた市主導の環境伐を実施	33,385	33,385	9.4
3	林道維持補修事業	過年度の豪雨災害により被災した林道佐久間線の復旧事業を実施	152,354	32,855	9.2
4	低コスト林業推進助成事業	木材生産の低コスト化と生産力向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設、索道設置等、林内路網の整備を支援	60,607	60,607	17.0
5	森林整備・林業振興事業	主伐に関する再造林等の作業や主伐材の搬出作業を支援	152,219	47,807	13.4
6	市単独治山事業 (山地災害予防対策事業)	所有者による管理が進まず荒廃状態にある森林について、山地災害予防等の観点から危険木の伐採や倒木の処理等の整備を支援	8,910	6,020	1.7
②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保					2.4
1	天竜材人材育成・担い手確保事業	林業の技術力向上の取組及び担い手確保・育成活動等を支援	8,620	8,620	2.4
③森林の有する公益的機能に関する普及啓発					2.2
1	森林活用等都市間連携事業	大都市主催イベントへの浜松市ブース出展	724	722	0.2
2	森林環境教育推進事業	市内外の学校や企業等を対象とした森林環境教育プログラムの実施	990	990	0.3
3	FSC認証材利用拡大推進事業	木材関連展示会出展やノベルティ製作、浜松ウッドコレクション開催による天竜材の普及啓発	6,715	6,236	1.7
④木材の利用の促進					31.4
1	天竜材の家百年住居助成事業	天竜材(FSC認証材)を使用して地域材住宅を建てた建築主を支援	61,303	50,903	14.3
2	天竜材ぬくもり空間創出事業	天竜材(FSC認証材)を使用して非住宅建築物木造・木質化した建築主を支援	23,915	23,915	6.7
3	スポーツ施設整備事業 (天竜体育館改修工事)【スポーツ振興課】	天竜材を使用した天竜体育館改修工事の一部を支援	10,000	10,000	2.8
4	市立保育所施設整備事業 (佐鳴台保育園新築工事)【幼児教育・保育課】	天竜材を使用した佐鳴台保育園新築工事の一部を支援	188,320	27,267	7.6
⑤その他の森林の整備の促進に関する施策					5.7
1	天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業	市内森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化し、森林に新たな価値を創出	8,054	7,954	2.2
2	スマート林業推進事業	LPWAの活用及び林道情報のデジタル化	10,824	10,744	3.0
3	林業成長産業化推進事業	林業事業者等が実施する開発・研究・調査等を支援	1,500	1,500	0.4
	森林環境基金積立金(譲与税分)		0	0	0.0
合 計			755,895	356,979	3

①-1 防風林等被害対策事業(R5充当額:27,454千円)



- 松くい虫による松枯れ被害拡大の防止を目的に、地上及び空中からの薬剤散布、薬剤の樹幹注入を行うとともに、枯れた松木の伐倒駆除、危険木の伐倒を実施

【 R5年度実績 】

- (1) 伐倒駆除／三方原防風林、舞阪町民の森
- (2) 薬剤散布／浜北森林公園周辺(空中散布)、舞阪町民の森(地上散布及び樹幹注入)

〔 R5年度防風林等被害対策事業実績 〕

内容	三方原防風林	浜北森林公園周辺	舞阪町民の森
伐倒駆除	386.4立法メートル	—	368立法メートル
薬剤散布	—	29.0ha(空中散布)	4.3ha×2回(地上散布)
薬剤樹幹注入	—	—	270本

〔 事業実施の様子 〕



【 伐倒駆除前 】



【 伐倒駆除後 】



【 薬剤地上散布 】



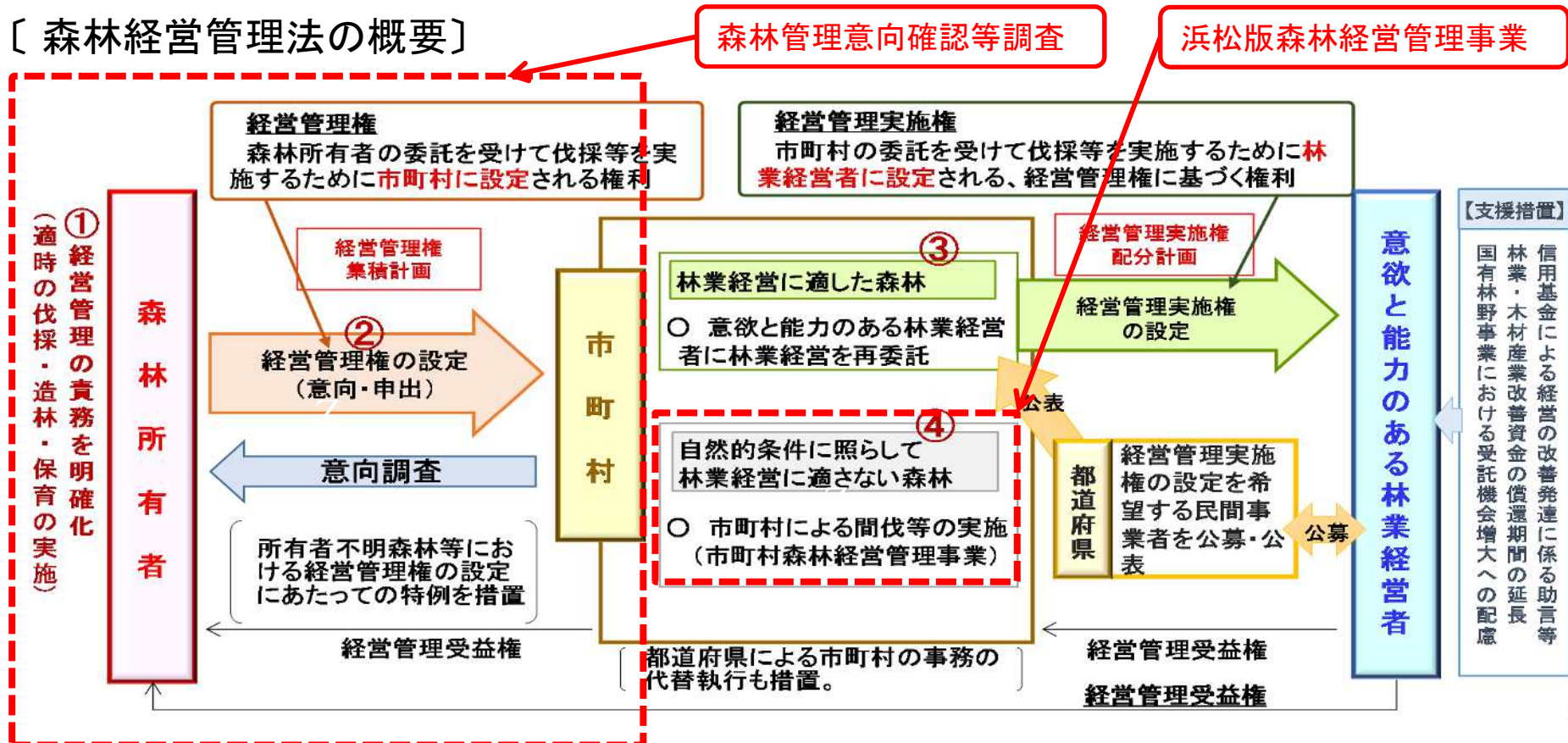
【 薬剤空中散布 】

①-2 森林経営管理推進事業(R5充当額:33,385千円)



- 森林経営管理法に基づき、適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施するとともに、意向に基づき市主導の環境伐を実施することで針広混交林化を推進
 - ・ 森林管理意向確認等調査／森林所有者への意向確認、計画作成、同意取得等を実施
 - ・ 浜松版森林経営管理事業／経営管理権集積計画に基づき、混交林化を目指した環境伐を実施

〔森林経営管理法の概要〕



①-2 森林経営管理推進事業(R5充当額:33,385千円)



- 令和5年度の森林管理意向確認等調査の実績は、森林所有者数:163人、面積:196.45haとなり、昨年度に比べ微減(R4／人数:192人、面積:269.85ha)
- 浜松版森林経営管理事業は2件(水窪、引佐地域)、25.66haで大幅に増加
- 令和6年度は、約240haの意向調査を予定

〔これまでの森林管理意向確認等調査の実績〕

年度	実績														備考
	森林所有者数【人】 (意向調査実施者)	調査対象面積【ha】 (簡易測量等実施地)	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	(うち利用間伐同意人数【人】)	(うち利用間伐同意面積【ha】)	(うち保育間伐同意人数【人】)	(うち保育間伐同意面積【ha】)	(うち皆伐同意人数【人】)	(うち皆伐同意面積【ha】)	(うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】)	(うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】)	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
R1	96	160.59	63	104.23	26	65.67	41	34.08	0	0.00	1	4.48	17	49.60	その他:7人、6.76ha
R2	160	271.64	142	250.51	120	190.61	27	47.58	0	0.00	2	11.40	10	13.98	
R3	148	293.82	73	168.34	49	107.69	24	60.65	0	0.00	0	0.00	42	76.20	
R4	192	269.85	66	89.99	51	60.27	12	26.87	3	2.85	0	0.00	96	143.43	
R5	163	196.45	72	78.14	52	64.23	18	11.69	2	2.22	0	0.00	89	110.59	
合計	759	1,192.35	416	691.21	298	488.47	122	180.87	5	5.07	3	15.88	254	393.80	

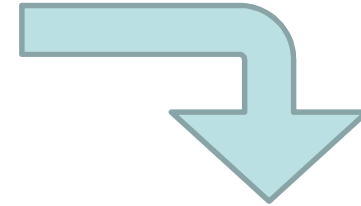
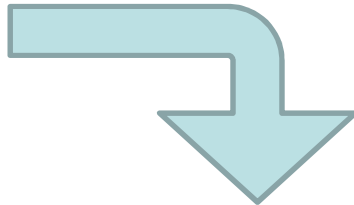
※ 利用間伐及び保育間伐の重複者あり

①-3 林道維持補修事業(R5充当額:32,855千円)



○ 林道佐久間線の境橋の修繕工事等を実施

- ・ 林道橋塗装工事(57㎡)



①-4 低コスト林業推進事業(R5充当額:60,607千円)



○ 木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設や修繕、索道の設置等、林内路網の整備を支援

【R5実績】

- ・作業路開設(幅員:3.0m以下)／10件、3,663m
- ・作業道開設(幅員:3.0m)／18件、8,722m
- ・作業道修繕／39件、22,509m
- ・索道設置・撤去／33件、6,041m

〔制度の概要〕

補助対象／市内の認証森林

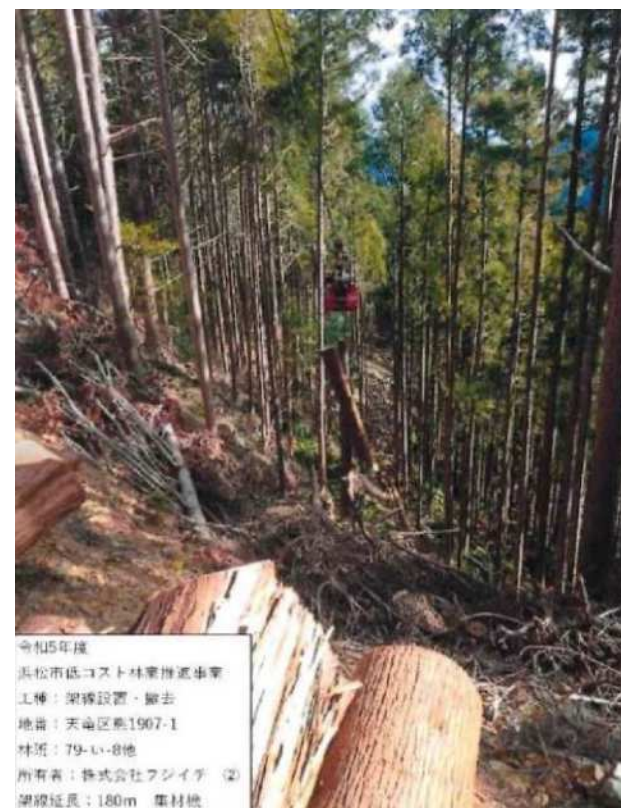
補助率／補助対象経費合計の4分の3以内

単価等／

- ・森林作業道開設:7千円/m
- ・森林作業路開設:4千円/m
- ・森林作業道補修:上限1,000千円
- ・架線設置・撤去:延長100m以上



【作業道開設】



【索道設置】

①-5 森林整備・林業振興事業 (林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業) (R5充当額: 47,807千円)



本地域の林業の成長産業化や林齢の平準化を目的に、主伐に関する再造林等の作業や主伐材の搬出作業を支援

【林業・木材産業成長産業化促進対策事業】

○ 主伐時の集材と再造林の一貫作業関連活動等を支援

- ・(R5実績) 間伐面積: 6.19ha、材積: 637 m³
- ・(R4実績) 実績なし

【浜松型林齢平準化促進事業】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援(2,000円/m³)

- ・(R5実績) 皆伐面積: 36.95ha、材積: 20,038 m³
- ・(R4実績) 皆伐面積: 32.19ha、材積: 16,750 m³



【皆伐における木材搬出】

①-6 市単独治山事業(山地災害予防対策事業)(R5充当額:6,020千円)



- 森林所有者による森林管理が進まず荒廃状態にある森林について山地災害予防等の観点から危険木の伐採や倒木の処理等の整備を支援
- 森林の有する山地災害の防止等の公益的機能の強化を図る
 - ・(R5実績)申請件数:22件、整備面積:1.7ha、伐採本数:225本
 - ・(R4実績)申請件数:16件、整備面積:4.3ha

〔制度の概要〕※令和5年度より③を拡充

	① 面的森林整備事業 (事前申請型)	② 小規模緊急森林整備事業 (実績申請型)	③危険木伐採支援事業 (実績申請型)
事業内容	申請面積 0.6ha～1.0ha	申請面積 0.1ha～0.5ha	胸高直径20cm以上かつ樹高5m以上 <u>高度な技術又は特殊機器等が必要で専門業者でなければ伐採できない</u>
補助金額	1本620円(胸高直径10cm以上) または実行経費の安価な方 ※ 0.1haあたり上限124,000円	0.1haあたり上限124,000円 または実行経費の安価な方	危険木伐採経費の <u>1/2以内</u>
上限補助金額	1申請あたり124万円(上限1ha または2000本)	1申請あたり62万円(上限 0.5ha)	<u>1申請あたり50万円</u>

【実施前】



【実施後】



②-1 天竜材人材育成・担い手確保事業(R5充当額:8,620千円)



- 持続可能な森林管理、経営に不可欠な林業従事者の育成・確保を目的に、安全装備品の購入や新規就業者の給料等を支援
- 加えて、新規就業者の技術力向上や担い手確保・育成活動を支援

【R5実績】

- ・林業従事者安全装備品等支援事業／助成林業従事者数:181人(防護ズボン、安全靴等)
- ・新規就業者支援事業／助成新規就業者数:25人(採用から3年未満の給料及び手当金を支援)
- ・新規就業者技術力向上事業／助成件数:0件①
- ・担い手確保・育成活動事業／助成件数:14件② (①+②の参加者(累計)／561人)

〔天竜材人材育成・担い手確保事業の概要〕

名称	補助対象者	補助対象事業	補助率及び上限額
新規就業者技術力向上事業	天竜材に関わる林業、木材製造業及び建設業の市内に主たる事務所等を有する事業者又は世帯を別にする3人以上の市内に住所を有する者で構成された団体 など	新規就業者が1名以上参加する技術力向上に関する研修会等の開催	1/2以内 (上限200千円／事業)
担い手確保・育成活動事業		担い手確保につながるインターンシップや現地見学会等の開催	1/2以内 (上限100千円／事業) (インターンシップ:上限50千円／人) (現地見学会等:上限20千円／人)



【支援した各事業の様子(現地見学会等)】

③-1 森林活用等都市間連携事業(R5充当額:722千円)



○ 森林・林業への理解を深めてもらい、天竜材の販路拡大に繋げることを目的に
首都圏の大都市等と連携し、各種イベントでのワークショップ等を実施

- ・11/11 「なかのエコフェア2023(中野区主催)」／ブース来場者:200人、マイ箸づくり体験
- ・11/19 「川崎駅前 優しい木のひろば(川崎市主催)」／ブース来場者:630人、マイ箸づくり体験、丸太伐の実演



【 川崎駅前 優しい木のひろば 】



【 なかのエコフェア2023 】

③-2 森林環境教育推進事業(R5充当額:990千円)



- 森林や林業に対する理解を深めることを目的に、森林体験活動の受入団体「天竜こころの森ネットワーク」の運営活動等を支援
- R5年度は、ツアー受入や出張講座の受入のほか、本活動の更なる普及に向けたPR素材として、林業従事者の紹介動画の制作・HP掲載を実施



こちらは、『天竜美林 × SDGs』持続可能な社会のヒントを探しに行くツアーのご報告の動画です。

参加者のみなさんのコメントに注目してください。



【 HPに掲載されたPR動画の様子 】

③-3 FSC認証材利用拡大推進事業(R5充当額:6236千円)



- 天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる
- 令和5年度は「ジャパンホームショー」に浜松市ブースを出展するとともに、来場者の中から興味を持っていただいた方を対象とした「天竜美林ツアー」を開催

ジャパンホームショー2023

- 概要／全国への天竜材の販路拡大やFSC認証のPRを目的に浜松市ブースを出展
- 期間／令和5年11月14日(水)～17日(金)
- 場所／東京ビッグサイト
- 展示／天竜材丸太・製材品等



天竜美林ツアー

- 概要／天竜美林を実際に見ていただき、天竜材利用の機運を高める
- 期間／令和6年2月6日(火)
- 場所／浜松市(天竜美林、製材工場)



④-1 天竜材の家百年住居事業(R5充当額:50,903千円)



- 天竜材(FSC認証材)を使用した住宅の建築主を支援し、天竜材の地産地消を推進するとともに、FSC認証材の普及啓発を実施
- 平成13年度から市内産のFSC認証材が約1万立法メートル使用され、街中に第2の森をつくり、脱炭素化及びSDGsの実現を図る取組が推進された

〔市内住宅着工数と住宅助成事業の推移〕

(戸)

年度	住宅着工数	うち 木造住宅	木造住宅 割合	市住宅助成 事業実績	うちFSC材 使用実績
H23	5,371	3,741	70%	230	92
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	3,693	70%	146	94
R2	4,942	3,180	64%	131	79
R3	4,682	3,356	72%	160	115
R4	5,082	3,194	63%	154	110
R5	5,232	2,922	56%	142	101
合計	69,981	46,493	—	2,426	1,326

- 13年間でFSC認証材が1,326棟の住宅に使用
- 13年間で約1万m³のFSC認証材が使用(1棟:7.5m³と仮定)



※「住宅着工数」と「うち木造住宅」は、住宅課調べ

【天竜材が使用された木造住宅】 15

④-2 天竜材ぬくもり空間創出事業(R5充当額:23,915千円)



○ 天竜材(FSC認証材)の利用拡大のため、非住宅建築物における木造・木質化を支援し、天竜材の地産地消を推進

- ・ 令和5年度実績:11件(新築・増改築・改修・改装:9件、木製家具の導入:2件)
- ・ 令和4年度実績:19件(新築・増改築・改修・改装:6件、木製家具の導入:13件)

〔 制度の概要 〕

FSC認証材を使用する非住宅建築物の木造・木質化に対する助成事業

○ 補助対象者
施主

○ 補助金額

(1) 非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3
(FSC認証材PRに効果的取組は1/2)

【上限:5,000千円、200千円/m³】

(2) 特に天竜材の普及効果の高い非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3

【上限:10,000千円】

(3) 木製家具・木製品の購入費の1/3

【上限:2,500千円】



【 本事業活用事例(R5年度) 】

④-3 天竜体育館改修工事(R5充当額:10,000千円)



- 天竜体育館は、天竜地域のスポーツ拠点施設であり、年間約2万人が利用
- 今回、地域住民の生涯スポーツの場として提供するため大規模改修を行い、その中で天竜材(FSC認証材)を活用するとともに、FSCプロジェクト認証を取得
【 FSC認証材使用量／11.8m³、登録認証番号／SA-PRO-014561 】



【 天竜材を使用して改修された天竜体育館 】

④-4 佐鳴台保育園新築工事(R5充当額:27,267千円)



- 市立佐鳴台保育園園舎は、築後45年(昭和53年建築)が経過し経年劣化が進んでいたことから、建て替え工事を実施
- 本施設は木造で、構造材はじめ内装材等に天竜材(FSC認証材)を大量に使用するとともに、FSCプロジェクト認証を取得

【 FSC認証材使用量／217.8m³、登録認証番号／SA-PRO-014462 】



【 天竜材を使用して新築された佐鳴台保育園 】

⑤-1 天竜美林カーボנקレジット創出事業(R5充当額:7,954千円)



- 市内森林の二酸化炭素吸収量のクレジット化により、森林の新たな価値を生み出すとともに、森林を活用した木材生産以外の新規ビジネスを創出
- 今年度は各種制度(「J-クレジット」や「ボランタリークレジット(VCS)」等)の情報収集・比較やクレジット創出のための基礎資料の準備等を実施

【事業内容】

(1)プロジェクトマネージャーの設置

昨年度に引き続き民間専門人材を雇用
専門知識を活かし、二酸化炭素吸収量の
クレジット化に向けた調査を実施

(2)カーボנקレジット創出モデル事業

クレジット化のため資源量等を航空データから
解析するとともに各種クレジット制度の比較等
を実施

(3)先行事例調査

国内クレジット制度で先行する地域を視察、
作業内容等のヒアリングを実施

【事業イメージ】



⑤-2 スマート林業推進事業(R5充当額:10,744千円)



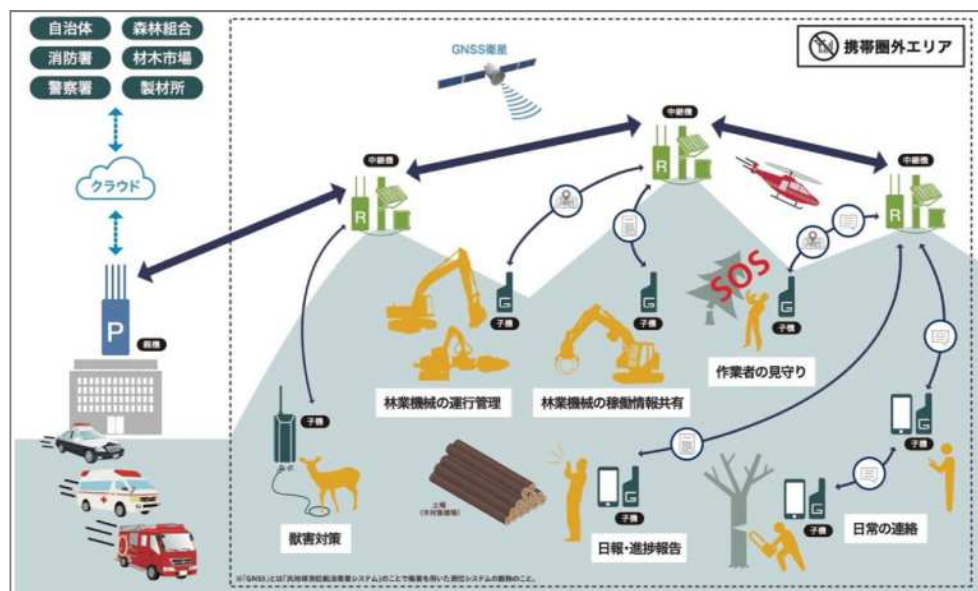
< LPWA活用推進事業 >

モデル地域(携帯電話圏外)においてLPWAを活用した通信インフラを整備し、林業従事者にLPWAインフラを活用したサービスを利用してもらうことで、林業従事者の安全確保と労働生産性の向上を図る

< MMSによるマッピングGISデータ取得 >

林道管理システムの構築とマッピングGISデータ取得により、林道の管理を効率化

〔 LPWAネットワークイメージ 〕



〔 R5年度MMS実績:(24路線(76km)) 〕



⑤-3 林業成長産業化推進事業(R5充当額:1,500千円)



- 本市の林業・木材産業の成長産業化のため、令和3年度に終了した国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」の後継として、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業を支援
- 令和5年度は、木材流通業者が実施した産学連携による天竜材新製品開発事業を支援

〔 成果発表会と開発した製品 〕

